

保温浴槽Ⅱ

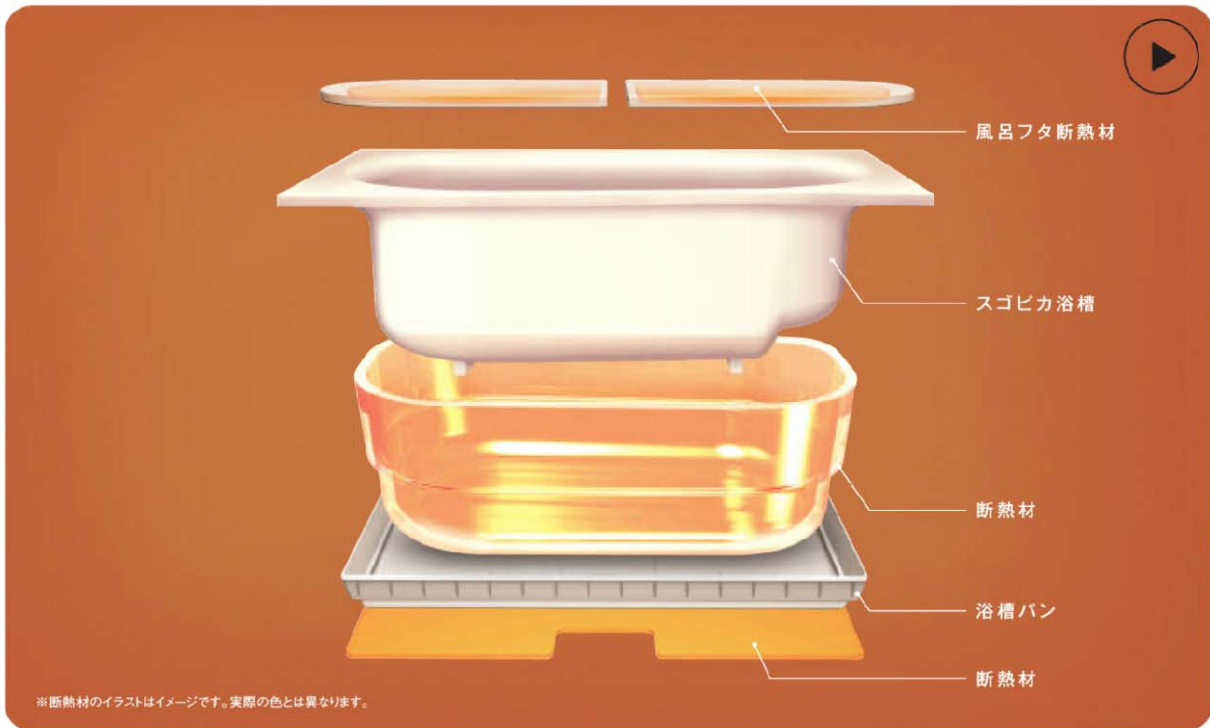
JIS高断熱浴槽準拠*

*保温浴槽Ⅱと断熱能みフタの組み合わせの場合

標準仕様

とことんあたたかく

遅く帰っても、入る時間が
バラバラでも、お湯があたたかい。



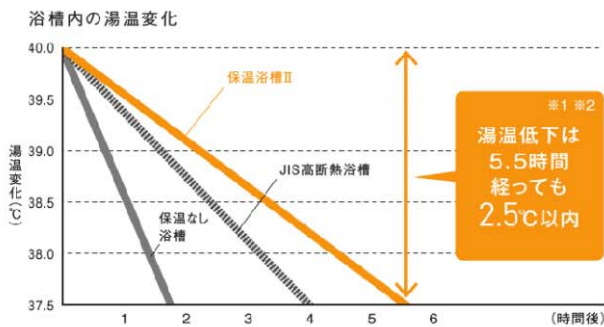
※断熱材のイラストはイメージです。実際の色とは異なります。

断熱材と浴槽パンでしっかり保温。

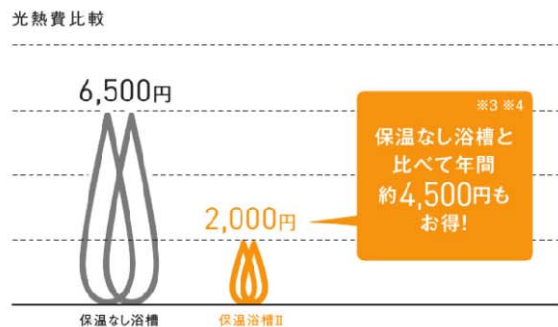
発泡ポリスチレン断熱材で浴槽を包み、高い保温効果を発揮。

湯温低下は5.5時間経っても2.5℃以内。追い焚き回数が減らせて、年間光熱費を約4,500円も節約できます。

湯温低下は5.5時間経っても2.5℃以内。^{※1 ※2}



年間光熱費を約4,500円も節約。^{※3 ※4}



[浴槽内の温度変化の実験条件] ※1 JIS高断熱浴槽 (JIS A 5532 浴槽) 周囲環境温度:10℃/浴槽水量:深さ70%/測定開始湯温:40℃/風呂フタを閉じた状態で4時間後の湯温低下が2.5℃以下

※2 湯温低下に関するご注意 浴槽内の温度変化は、JIS基準の条件での値です。ご使用の条件で湯温低下は異なってきます。以下の場合には、湯温がカタログ表示値より低下します。

・浴槽内の湿を循環させることで凍結を防止するタイプの追い焚き付き給湯機をご使用の場合。

※3 水道・光熱費算出基準料金(税込) ■新電力料金目安単価:27円/kWh((社)全国家庭電気製品公正取引協議会)、水道/下水道料金目安単価:269円/m³(東京都水道局換算式より(呼び径20mm/使用水量30m³とする))、ガス料金目安単価:184円/m³(東京ガス32m³/月 2014年4月) ■家族条件:4人家族 ■お湯はりして4時間後に追い焚きすると仮定し、その時の湯温低下(6か月間は半分の湯温低下と仮定した平均値)を、保温浴槽Ⅱ:1.38℃、保温なし浴槽:4.45℃とする。■浴槽水量:70%深さ(189L)、ガス熱量:45MJ/m³、給湯効率:0.8として計算。年間のガス使用量(m³)は、保温浴槽Ⅱ:12、保温なし浴槽:35.7となります。